

2019年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	京都市立紫野高等学校	助成	50万円
氏名	小林 孝由	金額	
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）			
「SDGsを軸としたソーシャルアクションの創出に係る授業実践」 —レゴブロックで生徒の『想い』を可視化する—			
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）			
<p>【背景と目的】</p> <p>勤務校の生徒の多くは、社会貢献について「自分のアイデア自体を肯定的にみること」や「自分のアイデアを言語化すること」が不得意であるという課題を抱えている。この課題に対して、教育活動にレゴブロックを活用することで、その解決を図りたい。正解や不正解にとらわれない「自分だけのレゴ作品」を通して自分の考えを語り、仲間と共有することで、生徒自身の持つ豊かな創造力・主体性を最大限引き出したい。本活動では、「SDGsを軸としたSA（ソーシャルアクション）の創出」を生徒自身が真に自分事として捉えることのできる授業内容の構築を目指す。</p> <p>【助成金の使用実績】</p> <p>本助成金は、以下の授業（2020年6月～2021年1月実施）において活用したレゴブロック（レゴシリアスプレイ専用キット）の購入費として使用した。対象生徒は、3年生40名である。</p> <p>第1回「このクラスに心理的安全性を作り出そう～全員の意見が100%受け入れられる対話をレゴで実現～」 第2回「私と仲間の持つ3つの想像力（記述的・創造的・挑戦的）をレゴで表現」 第3回「私にとっての『成長』～私なりの定義と行動習慣をレゴで表現～」 第4回「私にとっての『壁』と乗り越える方法～自身の課題の具体化と他者へのアドバイスをレゴで表現～」 第5回「2030SDGs～この世界を作った『私』をレゴで表現～」 第6回「SDGs de 地方創生～この町を作った『私』をレゴで表現～」 第7回「理想の京都市を構想しよう～『課題』と『解決策』をレゴで表現～」 第8回「学校の図書館をつくる！～SDGsを考慮した図書館をレゴで表現～」 第9回「ユネスコスクールでもある本校の魅力を中学生にプレゼン！～教育目標と校是をレゴで表現～」 第10回「学校の在るべき姿とは？～本校の憲章をレゴで表現～」 第11回「私にとってのシンプルガイディングプリンシプルとは？～頼るべき行動指針をレゴで表現～」</p> <p>【成果と今後の展望】</p> <p>2021年1月に実施された勤務校全体の授業評価アンケートにおいて、以下の質問に対して「そう思う」と積極的に答えた生徒の割合は次のような結果であった。</p> <p>「考えたことを他の生徒や先生に話したり、質問しやすい雰囲気がある」 地歴公民科平均63% / 本授業81% 「授業で扱うことがらに対する見方・考え方が身に付いた」 地歴公民科平均62% / 本授業82%</p> <p>また、本授業内で実施したアンケートでは、「どのような力が付いたか」という質問に対して「具体的に物事について考える力」「意見をまとめ、他人に伝える力」「他人の意見を取り入れる力」「社会の仕組み・SDGsについて理解する力」などが多くあがった。上記の結果より、課題であった「自己肯定感の向上」「アイデアの言語化」「社会課題の自分事化」の3点について一定の効果があつたと考える。さらに、勤務校において、上記授業の取り組みに興味を持つ教員も増え、英語科での授業やロングホームルームでの学級活動にて、レゴブロックを使用した教育実践が広がった。それらの活動においても同様の効果が認められている。このことも教育実践の広がりという観点から成果の一つとして数えることができるだろう。</p> <p>今年度、COVID-19の影響により、授業数の削減及び活動制限があつたため、当初予定していた授業内容を変更せざるを得なかった。今後の展望として、次年度は特に生徒の考えるSAの詳細なシミュレーション（一つのSAが他のSAに与える影響などの可視化）を取り入れた授業実践を行うとともに評価の精度を上げたい。また、他教科や学級活動にて、他の教員がレゴブロックを使用した活動をする支援や、教員間の連携強化のための企画実施など、活動を広げていきたい。</p>			
助成金の使用金額及び使途			
レゴシリアスプレイ専用キット購入費(1)(2)(3)=計500,060円			
内訳：(1)「Identity&Landscape Kit 153,560円(税込)」×2セット=307,120円			
(2)「Connection Kit 146,740円(税込)」×1セット=146,740円			
(3)「Starter Kit 7,700円(税込)」×6セット=46,200円			
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合はURLを記載すること。）			
小林孝由、「SDGsを軸としたソーシャルアクションの創出に係る授業実践～レゴブロックで生徒の『想い』を可視化する」、2020年11月1日、京都高等学校社会科研究会主催2020年秋季研究会（※発表内容は2021年春に研究紀要へ掲載予定）			